

再生医療の最前線～iPS細胞は患者さんを救えるか～

—横浜市立大学 先端医科学研究センター・横浜市経済局 国際戦略総合特区推進事業 連携講座—

横浜市立大学は、「再生医療の最前線～iPS細胞は患者さんを救えるか～」と題した市民講座を開催します。

近年、iPS細胞を活用した再生医療が大きな話題となっています。本学では、**世界で初めて「iPS細胞からミニ肝臓を作り出す」**ことに2013年に成功し、フロントランナーとして世界の最先端を疾走しています。このヒトiPS細胞から作製したミニ肝臓は、**画期的な再生医療や新たな医薬品の開発**を飛躍的に加速するための革新的技術として期待されています。

横浜市立大学 医学群 教授 谷口英樹（臓器再生医学）が、このような本学独自の先進医療開発に関する取り組みについて紹介するほか、同 医学群 教授 中島淳（肝胆膵消化器病学）からは、肝臓移植の現状を踏まえて、世界の現況についての解説と横浜市立大学附属病院での新たな取り組みについて紹介します。

さらに、再生医療をはじめとする創薬や医療機器等の研究開発プロジェクトの支援を行う横浜市施策についても紹介します。

《プログラム概要》

1. iPS細胞を用いた肝臓疾患に対する新規治療法の開発

横浜市立大学 先端医科学研究センター セローム解析センター長／臓器再生医学 教授 谷口 英樹

2. 肝臓疾患の国内外の現状と将来の展望 ～アンメットニーズに関して～

横浜市立大学 肝胆膵消化器病学 教授 中島 淳

3. 横浜市のライフィノベーション施策について

横浜市 経済局 成長戦略推進部 成長産業振興課 特区推進担当課長 伊藤 敏孝

- ◆ 日時： 平成28年11月29日（火）18:00～20:00（開場17:20）
- ◆ 会場： 県民共済 みらいホール（JR・市営地下鉄「桜木町」駅徒歩約3分）
〒231-8418 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-8-2 県民共済プラザビル1階
- ◆ 参加費： 無料 ◆ 定員： 300名
- ◆ 主催： 公立大学法人横浜市立大学 ◆ 共催： 横浜市
- ◆ 申込： TEL、FAX、E-mailもしくは大学WEBサイトから

【当日の取材をご希望の方は、前日までに下記お問い合わせ先までご連絡ください】

＜記者発表に関する問い合わせ先＞

講座に関すること	横浜市立大学研究企画・産学連携推進課長 渡邊 誠	tel: 045-787-2510
総合特区に関すること	横浜市経済局成長産業振興課 特区推進担当課長 伊藤 敏孝	tel: 045-671-3591

※本件は、横浜市経済局と同時発表しています。

裏面あり

■ 「先端医科学研究センター」とは

横浜市立大学先端医科学研究センターは、横浜市の中期政策プランに基づき、「がん」「生活習慣病」「免疫アレルギー疾患」などの疾患克服に向けて、平成18年に開設された大学直属の研究施設です。様々な病気の克服を目指した基礎研究と、その成果を少しでも早く診療の場や市民のみなさまに還元するための橋渡し研究、いわゆるトランスレーショナル研究を推進しています。本市民講座では、最先端の研究をみなさまにわかりやすくご紹介します。



■ 京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区について

横浜市では、神奈川県、川崎市と共同提案を行い、平成23年12月に国から「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」の区域指定を受け、革新的な医薬品や医療機器等の開発を目指した取組を特区制度を活用して推進しています。その一環として、本市民講座の講師である谷口教授のiPS細胞による再生医療の開発に対し、横浜市の「特区リーディング事業助成」などの実用化を促進するサポートを行っています。

■ 講師紹介

谷口 英樹（たにぐち ひでき）

横浜市立大学大学院医学研究科 臓器再生医学 教授

先端医科学研究センター セローム解析センター長

世界で初めてヒトiPS細胞から血管構造を持つ機能的なヒト臓器の作成に成功。この成果をもとに再生医療による新規治療法を目指した研究を行っています。ノーベル生理学・医学賞受賞の京都大学山中伸弥教授とも親交があり、iPS細胞研究の分野では我が国の第一線で活躍しています。



中島 淳（なかじま あつし）

横浜市立大学大学院医学研究科 肝胆膵消化器病学教室 主任教授

肝胆膵消化器病学では消化管グループ(食道・胃・小腸・大腸)、肝グループ(肝臓)、胆膵グループ(胆嚢/胆道系・膵臓)の3グループに分かれることで、互いに連携を取りながら大学病院で求められる専門・高度な医療の提供に努めています。また様々な研究活動も行い、論文発表や国内外の学会での発表を通じて、日本・世界へ情報発信を行っています。

